



小暮ひろし市議会報告

新政佐野 小暮博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地
TEL・FAX 0283-23-8263
E-mail kogurehi@sctv.jp
URL kogure-hiroshi.com

紙面

- ・新政佐野行政視察（碧南市、高山市）
- ・市議会議長会研修会（10月31日）
- ・新庁舎建設特別委員会（研修会、視察）

- ・平成23年第4回 臨時議会（11月30日）
- ・平成23年第5回 12月定例議会（12月2日～16日）

新政佐野行政視察（碧南市、高山市）

『新政佐野』会派での行政視察。

10月26日 愛知県碧南市『農業活性化センターあおいパークについて』

碧南市の人口は約73,100人で、臨海部の工業地帯には約150社が進出し、農業においては野菜指定産地の指定をうけて露地野菜産地となつている。

あおいパークは、都市との交流を基盤とした農業基盤の多角化等による農家の所得就業機会の創出で農業・農村の活性化を目指して、平成10年にオープン。

事業費：17億6,000万円（内：補助金5億円）

施設：本館（産直市、レストラン、調理加工室、浴室、映像農業館）

鑑賞温室

体験農園（温室4棟、露地野菜）、市民農園（70区画）

利用者数：1,076千人（平成22年、当初目標100千人）

農業と食と健康をテーマに、農業・農村の活性化をめざし、行政が積極的に進めており大変参考になった。

【議会運営関係】

一般質問の方式は、一括答弁方式または一問一答方式の選択制。持ち時間は1時間以内で、質問時間は30分保障。

10月27日 岐阜県高山市『市街地活性化について』

高山市の人口は約92,800人で、面積が日本で一番大きな市である。京都の祇園祭、秩父の夜祭とともに日本三大美祭と讃えられる高山祭がある。平成22年度から平成26年度まで、中心市街地活性化基本計画を策定。観光客数は約400万人。

街なか活性化として、中心市街地人口と商店街形成区域内の営業店舗数の増加を考えている。街なか定住促進プロジェクト（H22事業費2億8,600万円）では、自己・貸家住宅の新築、改修に要する補助、登録借家への家賃等の補助を設定。

高山市では朝市が盛んであり、平日であったが観光客が多く見られた。（佐野市も朝市でアウトレット客を呼べないか？）

【議会運営関係】

一般質問の方式は、一括方式または一問一答方式の選択制。一括方式は発言時間1人40分で5回以内。

市議会議長会研修会（10月31日）

栃木県議長会の開催による研修会が、真岡市で開催。

1. 演題：「どうなる地域産業 どうする経営」
2. 講師：（財）栃木県産業振興センター理事長 黒崎 日出男氏

講演の中で、気に止まった点を次に示します。

（1）栃木県の1人当たりの所得は3,104千円で、全国第7位になっている。そして、1割に満たない誘致企業の出荷額が全体の70%を占めている。（外需主導型）

県内の産業は、新規事業件数の減少、事業所数の減少が生じている。

（2）宇宙船地球号の定員は60億から70億人。（11月1日に70億人を突破した。）21世紀半には90億人。

食糧、水、エネルギーが不足する。そして、国家間の格差も増大する。

（3）日本を成長させてゆくには、環境・エネルギーと健康（医療・介護）の成長、アジアと観光・地域活性化に向けた推進が必要。

（4）2010年5月現在の国の借金880兆円（700万円/人）、栃木県の借金1兆861億円（54万円/人）。

（因みに、佐野市の普通と公営事業の地方債合計685億円（55万円/人））。

これから、行政改革として、人件費削減、民間移管、競争原理、出資法人の見直しが必要。

（5）経営資源の、ひと、もの、かね、技術、情報、ときすべてが大切である。

新庁舎建設特別委員会（研修会、視察）

【研修会：11月21日】

議員で立ち上げた特別委員会で、3人の講師を招き、勉強会を開催した。講師及び指摘された要点を以下に示す。

- ・水庭武宣氏：元東京都住宅開発局開発調整部長
- ・飯島庸司氏：元（株）黒川紀章建設都市設計事務所
- ・尾立弘史氏：小山工業高等専門学校建築学科長

（1）建設候補地の評価では、もっと深い検討が必要？

（2）防災機能に、必要な設備や備蓄を整備し、とあるが明確にしておく必要がある。

（3）敷地面積7,432㎡は小さく、10,000㎡は必要。

（4）市民利用・防災拠点機能の詳細検討が必要。

（5）時間を掛けても、愛着のある庁舎を作ると良い。

（6）防災拠点としては、人口密度の低い所が良い。

- (7) 移転先と跡地の両方が良くなる方向で考える。
- (8) 街の将来と庁舎の位置は、住民意見を良く聞くこと。
- (9) 集人は、一般論として、行政機関、病院、学校。
(商業はだめ：必ず必要なものではない)
- (10) これからは少子高齢化と人口減少。(発展はむり)
- (11) これからの庁舎はクラウド市庁舎。(窓口業務と福祉機能を総合支所とし分散)。

【視察：11月15日】

平成22年に竣工した、人口約216,000人のつくば市視察。

人口は佐野市の1.7倍ほど多く、庁舎の延床、敷地面積は約1.3倍、1.4倍と大きく、ゆったりとした場所に建設されていた。又、検討開始から設計開始までの検討期間は、つくば市では3年と長く実施。

単位延床面積当たりの建設費でみると、つくば市が37万円と、佐野市の44万円より15%ほど安価であった。

窓口フロアは、1階と2階とし、市民の利便性を高めていた。

表1. 庁舎建設のつくば市と佐野市(案)比較

	つくば市	佐野市(案)
人口(人)	216,000	124,100
本庁機能の分散	センター6、出張所5箇所	8箇所
職員予定数(人)	850	550
大きさ	地上7階	高層
延床面積(m ²)	21,000	16,000
敷地面積(m ²)	103,248	7,432
検討開始(期間)	H15年3月(3年)	H23年6月(0.3年)
設計期間(年)	1.5	1.5
工事期間(年)	2	2
建築費(億円)	77.39	68
駐車場(台)	1,200	200

平成23年第4回 臨時議会 (11月30日)

今回の臨時議会は、職員の給与月額及び支給する期末手当の額を減額し、人事院の勧告どおり12月から0.23%を実施する条例改正である。これにより、約1,500万円の歳出減となる。

平成23年第5回 定例議会 (12月2日~16日)

今回の第5回定例議会では、次の様な議案が提出され、全て可決、実施されました。

- (1) 条例の改正・廃止・制定7件、契約その他4件
- (2) 各種施設の指定管理者の指定15件
- (3) 一般会計補正予算等の補正予算4件
- (4) 一般質問 (質問者17名)

(1) 条例の改正・廃止・制定7件、契約その他4件

議案佐野市手数料条例の改正で、道路の位置指定・変更5万円、廃止2万5千円が可決。(他市も同様な動き)

議案本庁舎解体工事請負契約である、落札金額1億4,595万円(落札率91.5%)を可決。

(2) 各種施設の指定管理者の指定15件

佐野市運動公園等指定管理5億6,885万円(5年、これ以外は全て3年)、佐野市茂呂山老人福祉センター指定管理1億6,455万円、佐野市道の駅どまんなかためま指定管理0円等の指定管理が可決されました。トータルの管理料は、約11億円です。どまんなかためまは利益があり、管理料は0円です。

(3) 一般会計補正予算等の補正予算4件

議案第150号平成23年度佐野市一般会計補正予算(9号)の中の債務負担行為、新庁舎設計業務委託(1億5,165万5千円の項目を削る修正案が出されました。理由は、合併特例債の期限が延びたため。修正案は、反対13人、賛成13人の同数となり、議長採決で否決。(私は反対しました。理由は小暮ホームページに掲載)

これから、新庁舎設計業務は進められることになりました。

*** 小暮ひろしの一般質問 ***



(4) 一般質問

①放射能汚染対策について

11月15日(火)の下野新聞によりますと、佐野市は除染の準備を進めているとの報道でした。秋山地区の大滝駐車場の北の方面で、除染が必要となる区域が計測されました。又、雨どいの地表などでも、放射能の高い場所がないかと危惧しております。

どのような計画になっているのか、お聞きいたします。

(答弁) 国の除染基準毎時1マイクロシーベルトについて、市独自のマニュアルを作成し、公共施設での除染を行う。

②佐野市役所本庁舎建設について

新庁舎建設にあたり、庁舎位置に関する市民の利便性、敷地の広さ、そして経済性に関する問題が重要と考える。

私の調査では、市民1年間の来庁距離(時間)は、佐野庁舎を100(100)とすると、文化会館北108(97)、どまんなか田沼120(107)。

今回の新庁舎建設にあたり、総合庁舎方式で効率と市民サービスの向上が期待される。どのような効果を予想しているのか。

車社会と安全に関係した敷地が7,432㎡と、他市平均の約36%しか有りません。これからの高齢化社会において、立体駐車場は心配です。どのように考えているか。

(答弁) 現在、葛生から約30人(1時間)、田沼から約60人(40分)の移動が有る。(これで、約9人減の効果。)

駐車場として、万町駐車場と高砂町駐車場も考えている。(立体駐車場は、2階くらいとのこと。2つの駐車場を合わせた敷地は、12,241㎡となる。)